

# T-ACT 学類生のための研究交流 (12008A)

つくばアクション  
プロジェクト

(25)

こなが や たつろう  
小長谷 達郎 (生物学類 4年)



## 研究って何だろう？

部活やサークルに熱心な人、バイトに精を出している人、勉強を頑張っている人…。ひとえに筑波大学の学類生といっても、色々なタイプの人があります。しかし、学類生の中で、「研究」にとことん親しんでいて、「研究とは何か？」という質問にいつも簡単に答えられるような人は少ないに違いありません。しかし、ほとんどの学類の4年生は、卒業研究に立ち向かわなければなりません。そして研究とは何かを知らないということは、見えない敵に向かって丸腰で突撃するようなものです。

いつかは研究をするのに、研究って何をするのかわからない！という声を耳にし、研究室選びに迷う友人を目にして、私たちは学類生と研究をつなぐ活動をしようと考えました。現在では、すでに研究を開始している学類生や大学院生、先生方を演者として招き、週1回の講演会を開催しています。その名も「学類生のための研究交流会」、略して学研交です。

## 学類生のための研究交流会

筑波大学ではたくさんの講演会やサイエンスカフェが開かれており、実は学類生と研究が結びつく機会が増えてきています。ところが、最新の研究紹介を聞いただけでは、進路に悩む学類生にとって、参考になりにくいのではないかと思われました。一方、学研交では、学生講師に①自身の研究分野、②現在の研究、③現在の研究にいたるまでの経緯の3つを紹介してもらっています。現在の研究だけでなく、分野そのものの紹介にも重点を置き、さらにその研究にいたるまでの紆余曲折を話してもらうことで、学類生が参考にしやすくなる考えたのです。学類生向けに特化していることが、学研交の最大の特徴といえます。

実際、毎週数人～10人程度の参加があり、多くの学類生から「参考になった」などの評価をいただいています。研究交流会(途中入退室自由、無料)は、はじめ15分の講演と1時間程度の交流会から成っていて、交流会では学生講師に自由な質問をすることができます。スタッフや講師もほとんどが学生で、堅苦しくない研究交流会を目指しています。今度、研究交流会の開催を耳にしたら、ぜひ会場に足を運んでみて下さい。

## 知識のすそ野を広げよう

研究交流会の講演分野はさまざま、これまで物理・応理・メ創・生物・資源・国際の演者を招いてきました。研究ではありませんが、留学体験についての講演をしてもらったこともあります。ひとつ学類の垣根を越えてみると、その分野で行われていることは知らないことばかり…。「〇〇学類では、そんなことを研究しているんだ！」という発見もたくさん待っています。異分野の話を身近に聞くことができるのも、研究交流会の魅力のひとつであり、スタッフ一同もその恩恵にあずかっています。そのおかげもあって、最近は分野ごとの方法論の違いも少しずつわかるようになってきました。他分野のことを知る＝知識のすそ野を広げることは、各所でその重要性をささやかれる幅広い視野を得ることに直結するに違いありません。今後も、文系理系を問わず学生講師を募り、多くの学類生と研究をつないでいきたいと思います。

## 演者・運営スタッフの募集

学研交では、運営スタッフや発表演者の募集を行っています。運営スタッフをやってみたい！という方(学年は問いません)や、交流会で講師として発表をしてくださる方は、ぜひkyokoku@hotmail.co.jp(代表・小長谷)までご連絡ください。

## 研究交流会のお知らせ

週1回程度(18:30～20:00、途中入退室自由)、研究交流会を開催しています。詳しい情報はTwitter(@gakkenko)にて配信しています！



ミーティングの風景